

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	観光推進事業						担当部	市民産業部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	商工観光課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	まちづくり観光係							
	総合計画 分野別計画	主目的	6 産業振興		30 観光		2 観光推進体制を強化する									
		副目的	30-2													
	予算区分	款	7		項	1		目	3		大	2		中	1	
	根拠法令・個別計画	愛知県観光振興基本計画 小牧市観光関係団体事業費補助金交付要綱														
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	44.1 %			委託	16.9 %			助成	39 %					
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	小牧市の観光の振興を図るため、関係団体等と連携し、観光資源の掘り起こしやPR活動を実施する。また、観光協会や小牧青年会議所など、各観光関係団体に補助し、発展、振興を図る。														
	内容 (手段)	<p>(平成23年度実施内容)</p> <p>○観光PR事業 ・観光パンフレット「小牧市ロードマップ」を作成し、小牧市の観光資源について広くPRした。 印刷部数 2000部 印刷費200千円</p> <p>○観光資源を活用した観光事業の実施 ・名古屋コーチン 小牧市発祥の名古屋コーチンについて、市広報によるPR活動をはじめ、商工会議所や名古屋造形大学、県、事業者等と連携し、モニュメントの設置、除幕式等を行った。 モニュメント委託先:名古屋造形大学 委託費 1,785千円</p> <p>・織田信長 小牧山城を築城した信長に特化し、信長サミット(40千円)、織田信長公居城連携協議会(200千円)、織田信長ウォーキング実行委員会(600千円)に加盟し、他市と連携しながらウォーキング大会・PR活動等を実施した。( )内はH23年度負担金額</p> <p>○小牧市観光協会による観光事業へ補助。(補助金1,800千円)</p> <p>○その他、関係団体と連携し、観光振興を図った。(負担金・補助金 1,480千円) (東海自然歩道愛知協議会45千円、愛知県観光協会105千円、同協会キャンペーン推進事業特別負担金280千円 (社)小牧青年会議所(小牧山ランドマークフェスタ事業費補助)850千円)</p> <p>【その他直接経費の内訳】 普通旅費(31,230円)、特別旅費(2,500円)、消耗品(22,820円)、電気料金(55,683円)、修繕料(324,450円)、 (平成24年度事業) 新規事業 観光案内所の設置・小牧山城築城450年記念事業の実施</p>														
受益者負担	無															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	3,630	5,218	6,341	12,711	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.45	1.21
			人件費	千円	531	531	2,393	6,435
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.90	0.86
			人件費	千円	0	0	1,843	1,761
		費用合計	千円	4,161	5,749	10,577	20,907	
	対前年比	%		138.1	183.9	197.6		
財源	一般財源	千円	4,142	5,730	10,558	20,591		
	国・県支出金	千円	19	19	19	316		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	推奨品展示即売会の開催	回	目標		3	3	3
実績				3	3	3	
観光めぐりの開催	回	目標		2	2	2	2
		実績		2	2	2	
		目標					
		実績					
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	推奨品の選定品数	品	目標		47	48	48
実績				47	46	46	
観光協会会員数	人	目標		110	110	110	120
		実績		102	103	105	

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	<p>事業の達成状況</p> <p>商工会議所等と連携し、新たに小牧発祥の名古屋コーチンのPR活動を行い、小牧市の観光資源をより多くの方に知ってもらえることが出来た。 また、信長関連の観光事業を他市等と連携し開催するなどし、小牧市の観光の推進を図ることができた。 また、観光協会の組織・体制の強化を図るべく、勧誘活動を行い、新規会員に加入していただくことができた。</p>
	事業実施における課題等	<p>小牧市観光協会の事務局が商工課内にあり、実際の事業実施を商工課職員が行っている。今後、観光協会の組織・体制について強化を図り、市民や企業と連携し事業を進めて行くことが課題である。 観光事業をより魅力的に事業展開するためには、観光協会を中心に、市民・企業との連携が必要となる</p>
	事業を縮小・廃止したときの影響	<p>今後、観光を推進して行くうえで、観光推進事業の実施が縮小・廃止されれば、盛り上がりつつある市民の観光への意識の高揚が停滞すると考えられる。</p>
今後の事業の方向性	方向性の判定	拡充
	判定理由	<p>来年度は、小牧山城築城450年にあたり、機運も高まりつつあることや、今後、観光を産業に発展させていくためには、観光事業の積極的な展開が必要であるため。</p>
	改善案等	<p>平成24年度より行政組織を変更し、取り組み体制の強化を図った。平成24年度より、観光協会内に様々な課題に取り組む分科会を設置し、観光協会の自立化に向け、支援強化しつつ取り組む。また、小牧駅に観光案内所を設置予定しており、観光PR活動に積極的に推進するとともに、平成25年の信長の小牧山城築城450年を契機に観光まちづくりに向け、関係団体と連携強化を図る。</p>

二次評価	方向性の判定	判定理由
	拡充	<p>一次評価のとおり。小牧観光協会の組織・体制の強化が進められている。平成25年度小牧山城築城450周年に向けて事業の拡充が必要であるため。</p>